

事業報告書				
医療法人番号		00011		
報告期間	自	令和3年4月1日		
	至	令和4年3月31日		
1 事業報告書の概要				
(1) 名称	医療法人清澄会			
	分類①	財団	分類①から③のそれぞれの項目（③は社団のみ。）について、該当するものをリストから選択すること。（会計年度内に変更があった場合は変更後。）	
	分類②	その他		
	分類③			
	(2) 事務所の所在地	都道府県	岐阜県	複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
		市区町村	垂井町	
		町名・番地	94番地の1	
		建物名		
		従たる事務所の記載はこちら		
	(3) 設立認可年月日	昭和33年4月14日		
	(4) 設立登記年月日	昭和33年5月6日		
	(5) 理事長の氏名	姓	稲川	
	名	俊文		
役員及び評議員の人数	6			
役員及び評議員	記載はこちら			
2 事業の概要				
(1-1) 本来業務（病院、診療所）	記載はこちら			
(1-2) 本来業務（介護老人保健施設、介護医療院）	記載はこちら			
(2) 附帯業務	記載はこちら			
(3) 収益業務	記載はこちら			
(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	記載はこちら			
(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債	記載はこちら			
(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債	記載はこちら			
(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設	記載はこちら			
	(5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。			
(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	記載はこちら			
	全ての指定内容について記載しても差し支えない。			
(9) その他	記載はこちら			
	当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）			

事業報告書

1-(2) 従たる事務所の所在地

[illegible]

事業報告書

1-(5) 役員及び評議員

[illegible]

- 注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第46条の5第6項参照）
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。（医療法第46条の4第1項参照）

2-(1) 本来業務

(開設する病院、診療所（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。

3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

事業報告書

2-(1) 本来業務

(介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

[illegible]

注) 1. 地方自治法第244条の第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
2. 療養老人介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

事業報告書

2-(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

[illegible]

2-(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

[illegible]

2-(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行記録、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。
医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

医療機関間の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することから自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由

(注)

1. 医療機関等を導入する医療法人は、医療機関等の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っているか、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。
2. 導入した医療機関名、発行元医療法人名、導入時期及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は備前証書の写しの添付に代えても差し支えない。

目付	開設（許可を含む）した主要な施設
----	------------------

[illegible]

様式 2

法人名 医療法人清澄会

※医療法人整理番号 00011

所在地 岐阜県不破郡垂井町94番地の1

財 産 目 録
(令和 4年 3月31日現在)

1. 資 産 額	2,255,860 千円
2. 負 債 額	455,988 千円
3. 純 資 産 額	1,799,872 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	989,357
B 固 定 資 産	1,266,503
C 資 産 合 計 (A + B)	2,255,860
D 負 債 合 計	455,988
E 純 資 産 (C - D)	1,799,872

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3 - 1 (G-MIS様式)

法人名 医療法人清澄会

※医療法人整理番号 00011

所在地 岐阜県不破郡垂井町94番地の1

貸借対照表
令和4年3月31日 現在

(単位: 千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	989,357	I 流動負債	89,054
現金及び預金	686,750	支払手形	0
事業未収金	275,998	買掛金	10,832
有価証券	0	短期借入金	0
たな卸資産	9,058	未払金	31,536
前渡金	0	未払費用	0
前払費用	2,754	未払法人税等	0
その他の流動資産	14,797	未払消費税等	499
		前受金	15
		預り金	5,811
		前受収益	0
		その他引当金	38,640
		その他の流動負債	1,721
II 固定資産	1,266,503	II 固定負債	366,934
1 有形固定資産	938,674	医療機関債	0
建物	703,776	長期借入金	362,190
構築物	14,541	繰延税金負債	0
医療用器械備品	2,040	その他引当金	0
その他の器械備品	14,818	その他の固定負債	4,744
車両及び船舶	1,971		
土地	196,784		
建設仮勘定	0		
その他の有形固定資産	4,744		
		負債合計	455,988
		純資産の部	
		科目	金額
2 無形固定資産	4,721	I 基金	
借地権	2,157	II 積立金	1,799,872
ソフトウェア	2,200	代替基金	0
その他の無形固定資産	364	繰越利益積立金	529,871
		その他積立金	1,270,000
3 その他の資産	323,108	III 評価・換算差額等	0
有価証券	102	その他有価証券評価差額金	0
保有医療機関債	0	繰延ヘッジ損益	0
その他長期貸付金	0		
役員等長期貸付金	0		
長期前払費用	0		
繰延税金資産	0		
その他の固定資産	323,006		
		純資産合計	1,799,871
資産合計	2,255,860	負債・純資産合計	2,255,860

(注) 1. 表中の固定された勘定科目については、変更しないこと。

法人名 医療法人清澄会

医療法人番号

00011

所在地 岐阜県不破郡垂井町94番地の1

損 益 計 算 書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

(単位：千円)

科目		金 額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			1,621,399
2 事業費用			
(1) 事業費	1,583,276		
(2) 本部費			1,583,276
本来業務事業利益			38,123
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			51,863
2 事業費用			58,647
附帯業務事業損失			-6,784
C 収益業務事業損益			
1 事業収益			0
2 事業費用			0
収益業務事業利益			0
事業利益			31,339
II 事業外収益			
受取利息	256		
その他の事業外収益	25,091		25,347
III 事業外費用			
支払利息	3,493		
その他の事業外費用	5,610		9,103
経常利益			47,583
IV 特別利益			
固定資産売却益	0		
その他の特別利益	0		0
V 特別損失			
固定資産売却損	0		
その他の特別損失	8,836		8,836
税引前当期純利益			38,747
法人税・住民税及び事業税	8,994		
法人税等調整額	0		8,994
当期純利益			29,753

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること（自動表示）。

2. 表中の勘定科目については、変更しないこと。

3. 表中の選択可能な勘定科目については、プルダウンにより適切な勘定科目を選択すること。

リストにない勘定科目がある場合は、リスト中の「その他〇〇」を選択すること。

監事監査報告書

医療法人清澄会

理事長 稲川 俊文 様

私は、医療法人清澄会の令和3年会計年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、病院及び障害福祉サービス事業所等の施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和4年6月4日

医療法人清澄会

監事 吉村 文男

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び付属明細表」とする。